

こだわり住宅 INTERVIEW

志村建設株式会社 専務取締役 志村 定弘さん



Q. 地産地消の考え方に...
最近では「地産地消」の考え方を理解している地産地消の推進者も多く見られます。志村建設でも、地産地消の考え方を理解し、地産地消の推進者として取り組んでいます。

Q. 秋田スギの推奨ポイント...
ポイントとしては、ナチュラルな木の質感、高い自然素材の美しさ、そして、木目や節の個性が魅力です。

Q. 施工主様の感想は...
「木の家を望むと、木が大好きで、長く住みたいという思いがありました。秋田スギのナチュラルな木目が、まさに理想の家でした。」

「6年住んでいた奥様が、木目や節の個性が大好きで、長く住みたいという思いがありました。秋田スギのナチュラルな木目が、まさに理想の家でした。」

県産材を使用した住宅施工事例

環境のことも考えて、木目の見える木の家を3人の子どもを育てるマイホーム&美容室

【施工】志村建設株式会社
住所/ 由利本荘市中野天68-1
TEL/ 0184-22-3400



POINT 3 秋田スギの家具も新居にぴったり
新築時に一緒に作った秋田スギの食器棚。地元の家具屋さんに依頼してキッチンサイズに合わせて製作。幅も高さも「ちょうどいい」を実現。家電の収まりも良く、使い勝手も抜群。



POINT 2 美容室azの店内も木目調に統一
美容室内のカフェカウンターも鏡の木枠も天井も、すべて秋田スギ。高性能の長期使用に耐えられる厚みが、まるで出窓のような室内空間を演出する。壁はすべて塗壁。



POINT 1 ふぞろいの秋田スギがナチュラル感を演出
天井のスギ板は、わざとふぞろいな幅を使用し凹凸を作ることで、ナチュラル感を演出したほっこり空間に。「幼い子どもたちと一緒に眠るときも天井を見ていると落ち着く」と成田さん。



由利本荘市 成田様邸
外壁は秋田スギと木モセメント板を使用。屋根に太陽光発電を設置したゼロエネルギー住宅。省令準耐火構造で火災保険が一般的な木造住宅の半分程度で済むのも魅力。



木モセメントとは...
木質原料とセメントとを混合した材料。



秋田スギ学部 2時限目

もっと知ろう！秋田の木々の魅力

全国でも有数のスギ産地である秋田県において、多くの方に秋田スギを始めとする県産材の魅力を知っていただくために開設したマリマリ大学秋田スギ学部。今回は生産者の立場から、秋田スギの魅力、住宅材としての適合性などをお届けしました。全4回のうち、第2回目となる今回は、学問・研究の立場から秋田県立大学木材高度加工研究所准教授足立幸司さんにお話を伺いました。

スギの柔軟性を生かす新素材「やわらかい木」
薄くスライスしたスギ板をエラストマー接着剤で何枚も貼り合わせた「やわらかい木(可撓性単板積層材)」を5年前に開発。衝撃吸収性と自在に変形可能ということが大きなポイントです。秋頃にはこれを応用した「曲がる壁」が商品化される予定で、店舗やイベントスペースにおいて実用化されていくことになると思います。

木材の可能性を伝えるための最初の切り口として、多くの方々に木に関心をもってもらいたいと思っています。そのために、「見る」「触る」など五感を使って感じられる木の見せ方を意識し、材料開発や製品開発に携わっています。スギはほかの木材と比べて細胞密度が低く柔らかいため、家具材としてなかなか利用できなかったのがこれまでの課題でした。その特性を生かし開発した技術を少しご紹介したいと思います。

木材の可能性を伝えるための最初の切り口として、多くの方々に木に関心をもってもらいたいと思っています。そのために、「見る」「触る」など五感を使って感じられる木の見せ方を意識し、材料開発や製品開発に携わっています。スギはほかの木材と比べて細胞密度が低く柔らかいため、家具材としてなかなか利用できなかったのがこれまでの課題でした。その特性を生かし開発した技術を少しご紹介したいと思います。



秋田県立大学 木材高度加工研究所 准教授 足立 幸司さん



プレス機で木材を圧縮する様子。柔らかい秋田スギも圧力をかけながら熱すると厚さは約1/4になり強度が増す。

「やわらかい木」厚さ約0.4mmの木材をエラストマー系の接着剤で何十層も貼り合わせ作成。厚さや枚数を調整できさまざまな形に対応。

「やわらかい木」厚さ約0.4mmの木材をエラストマー系の接着剤で何十層も貼り合わせ作成。厚さや枚数を調整できさまざまな形に対応。

衝撃を吸収するという観点から、小さい子どもがいる家庭では床材として利用したり、音があまり出ないという点で、ドアの戸当たりなどに利用するなど、今後住宅へも取り入れたいと考えています。

木材利用において先進的な秋田県
丸太から角材をとるだけではなく、残った木材を曲げっぱや桶た、建具や家具などとして惜しみなく利用してきたのが秋田県の文化です。住まい空間がトータルで作れる産業が今もなお生き残っている地域は全国的に見ても非常に珍しいことです。



木材高度加工研究所の玄関ロビーには椅子や机など、実用化されたさまざまな加工製品が並び、一般の方も見学可能。

スギちゃんゼミ!!

～木を学び、木と暮らす～

スギちゃんも県産材についてワイルドに学んでるぜ～

お笑いタレントのスギちゃんが秋田産の木材について学ぶテレビ番組。県産材の特長や魅力、活用事例などをわかりやすく紹介します。

ABS秋田放送 毎週火曜日 21:54から
※放送時間は変更になる場合がございます。
[再放送] 毎週水曜日 11:25から

【お問い合わせ先】秋田県木材産業協同組合連合会 〒010-0003 秋田市東通二丁目7番35号 TEL.018-837-8091 FAX.018-837-8093

ウッドファーストあきた 木材利用ポイント事業

- ポイントの発行対象**
平成27年4月1日から12月31日までの期間に、県内で県産材を利用した住宅の新築やリフォームの実施またはストープ(まき・ペレット)や県産木製品等の購入をした場合で、所定の要件を満たしたときに、ポイント発行の対象となります。
- ポイント付与対象期間**
●ポイント申請期間:平成27年7月1日(水)～平成28年1月29日(金)
●ポイント交換期間:平成27年8月3日(月)～平成28年2月29日(月)
※ただし、発行可能なポイント数の上限に達した時点で、ポイント発行申請の受付を終了しますので、早めに申請をお願いします。
- 書類の提出先**
申請の受付窓口(県内12カ所)や商品交換対応団体(県内1カ所)については、県のホームページに全て掲載しておりますので、ご覧ください。



秋田県立大学 木材高度加工研究所
住所/ 能代市海詠坂11-1
TEL/ 0185-52-6900